

# 『水につけたらどうなるやろ』 4 歳児 5 月 伏見こども園

## 子どもの姿

「この新聞、水に漬けたらどうなるやろう」と、家づくりに使っていた新聞紙の小さな切れ端を見つけた A くん。保育者は「本当やね。どうなるんやろうね」と答え、A くんは「やってみよう」と言い、保育者はタライに水を入れました。一枚の新聞紙の切れ端が溶けていく様子を見て「バラバラになってきた」と友達や保育者と一緒に様子を見て、他の友達が新聞紙を持ってきてタライの中に入れました。「明日、どうなってるやろうな」「固まってるかもな」と話しながら、タライの中の新聞紙を触っていました。

翌日、A ちゃんと B ちゃんが「もっと水入れよう」「新聞も入れたらどうなるやろう」と新聞を入れたり水を入れたりしています。A くんが、ドロドロに溶けた新聞に触っていると、B ちゃんがやってきて「入れるよ」とドロドロの上に両手を広げました。その声に周りにいた子達が B ちゃんの両手に注目し、B ちゃんがゆっくりそーっと両手を浸すと「わあっ」と声が上がりました。気持ち良さそうな B ちゃんの表情に C ちゃんも嬉しそう。ぎゅっと絞って「お団子になった」「見て。細ーくなった」と形をつくったり、「これ、固まったらどうなるかな?」「先生、太陽の当たる所に置いときたい」と、新聞団子を固めようとしたり、また水や新聞を入れてドロドロの感触を楽しんだりしています。まだまだ、遊びは続いていきそうです。

## 子どもの育ちや学び

水、もっと入れてみよう  
(ワクワク)



入れるよ  
(ワクワク)



お皿に並べよう  
(できた) (もう一回)



お団子みたい  
(できた) (嬉しい)

気持ちいいね  
(もっと触りたい)

- ・園庭での泥遊びの感触を思い出し、水を入れてみようとする。
- ・新聞紙を水の中に入れて揉むと、細かくちぎれてドロドロした感触になることに気付く。

- ・ドロドロに手を入れた時の感覚を知っていて、ドキドキ感を楽しんでいる。
- ・見ている A くんも B ちゃんと同じことをしているような気持ちになっている。

- ・友達のつぶやきを聞いて、同じようにやってみようとする。
- ・ドロドロを絞っていろいろな形状になることに気付き、つくって楽しんでいる。

## 保育者の思い

なぜ、A くんは「新聞を水につけたらどうなるやろう」と思ったのかな。普段からいろいろなことを知っている A くんだから、もしかしたら家庭で見聞きして、どうなるかを知っているのかな。だからこそ、新聞紙の切れ端を見つけた時やってみようと思ったのかもしれない。と、A くんつぶやきを聞いて、私の中でいろいろな思いが浮かんできました。でも、「とにかく、A くんは、今、水につけてみたいんだ。」と思い、近くにあったタライに水を入れました。

友達と一緒に、溶けた新聞のドロドロや絞って固めた感触を楽しみ、「もっと水を入れたい」「もっと新聞を入れたらどうなるかな?」と何度も繰り返して遊び、トレイから溢れた水やドロドロさ楽しんで、ドロドロを大切にしている様子を見ると、とても楽しくなってきます。

## 家庭だったら・・・

絵本や図鑑、テレビや YouTube など、たくさんの情報が身近にある子ども達。知っていることが増える中で、子どもが伝えたい、すごいんだよと心を動かして話したいと来た時は、ゆっくり話を聞いてあげてください。大人が驚かされることもあるかもしれません。